

僕の母さんは

新しい夫の虜



ボクは  
母さんと  
二人暮らし

父さんは  
早くに  
亡くなった

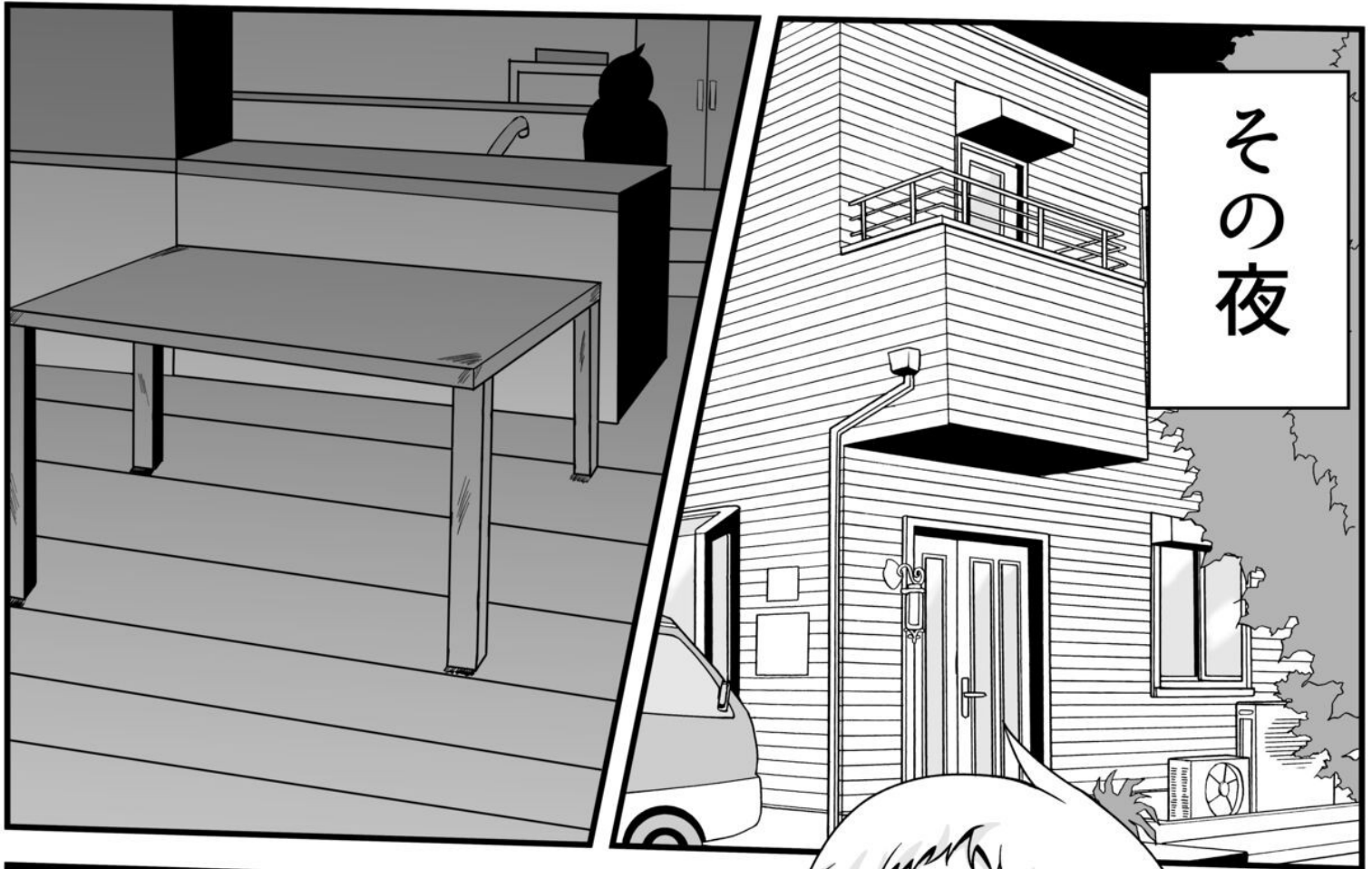
だからボクが  
母さんを  
幸せにしないと  
いけないんだ……

そんなある日……











全く  
とんでもない  
スケベ女だよっ

あっあっ…  
ミキオさんっ



はあはあ  
そうよっ  
私  
スケベな女  
なのっ



か母さん!?



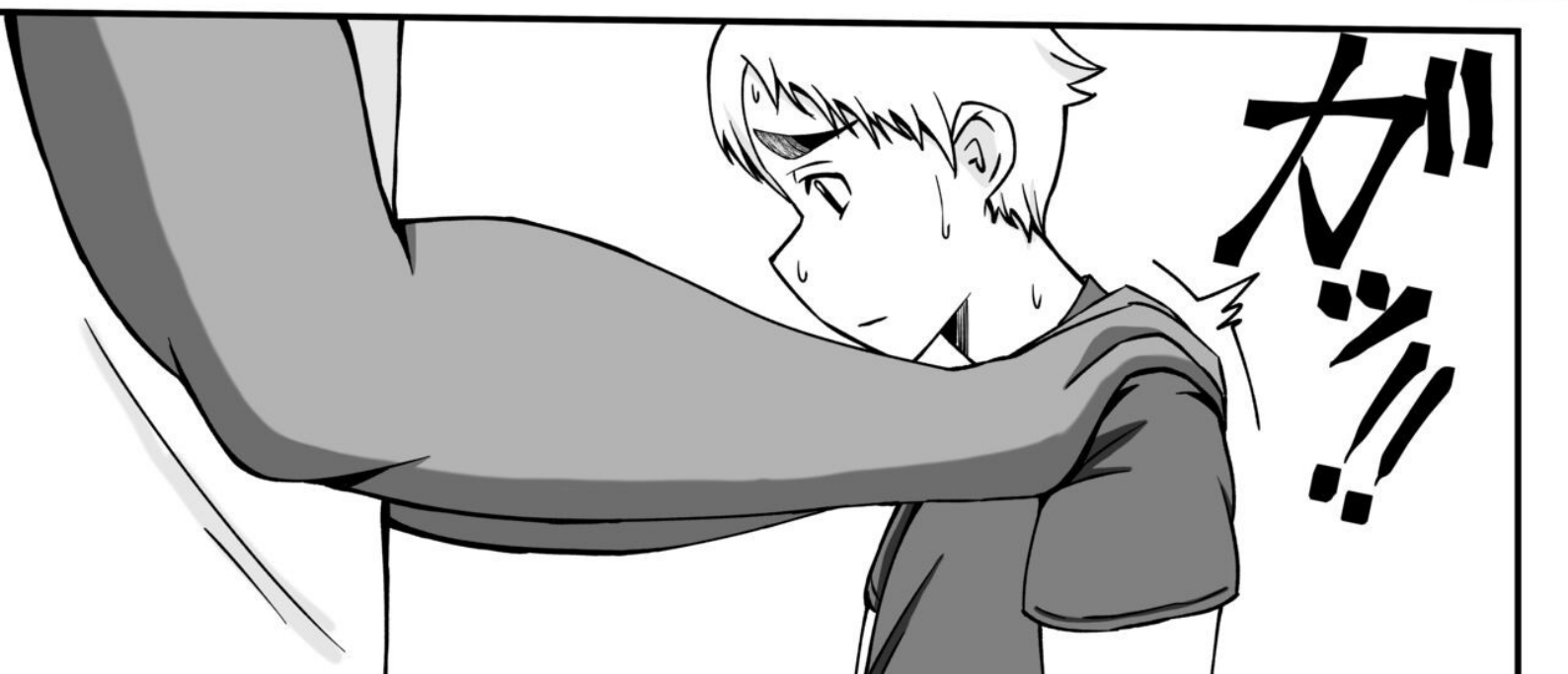
こんな姿  
ハヤト君に  
見せられないね

言わないで  
そんなこと  
……っ











私はね  
君のお母さんを  
愛してるんだっ

もちろん  
君のことも…



…はい

アム…



それを  
わかってほしい

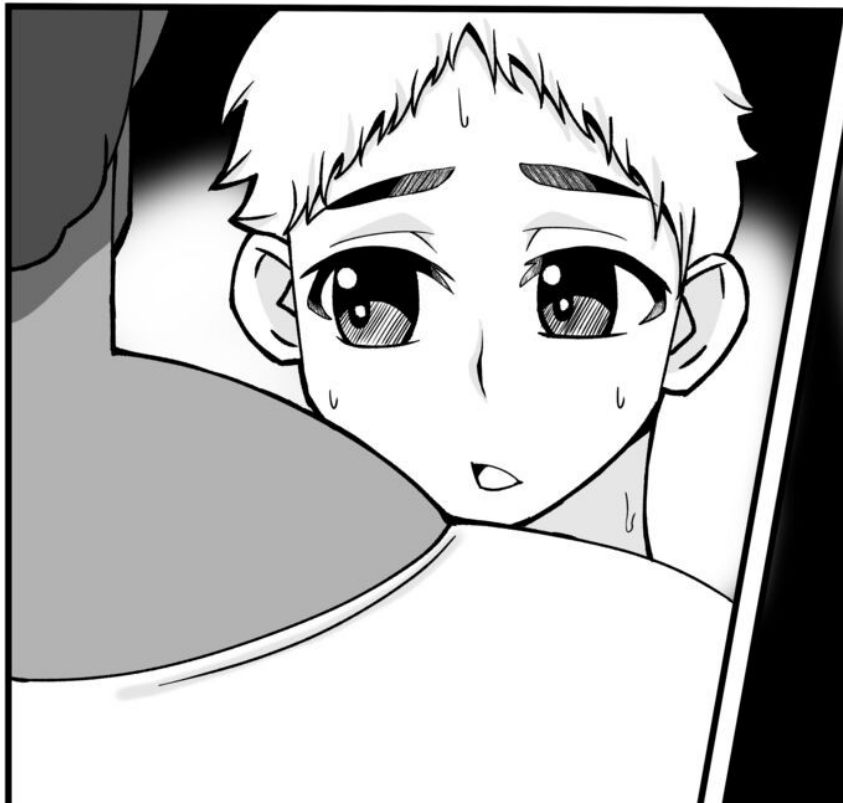


うれしいよっ

これから  
立派な父親に  
なれるよう  
頑張るよっ

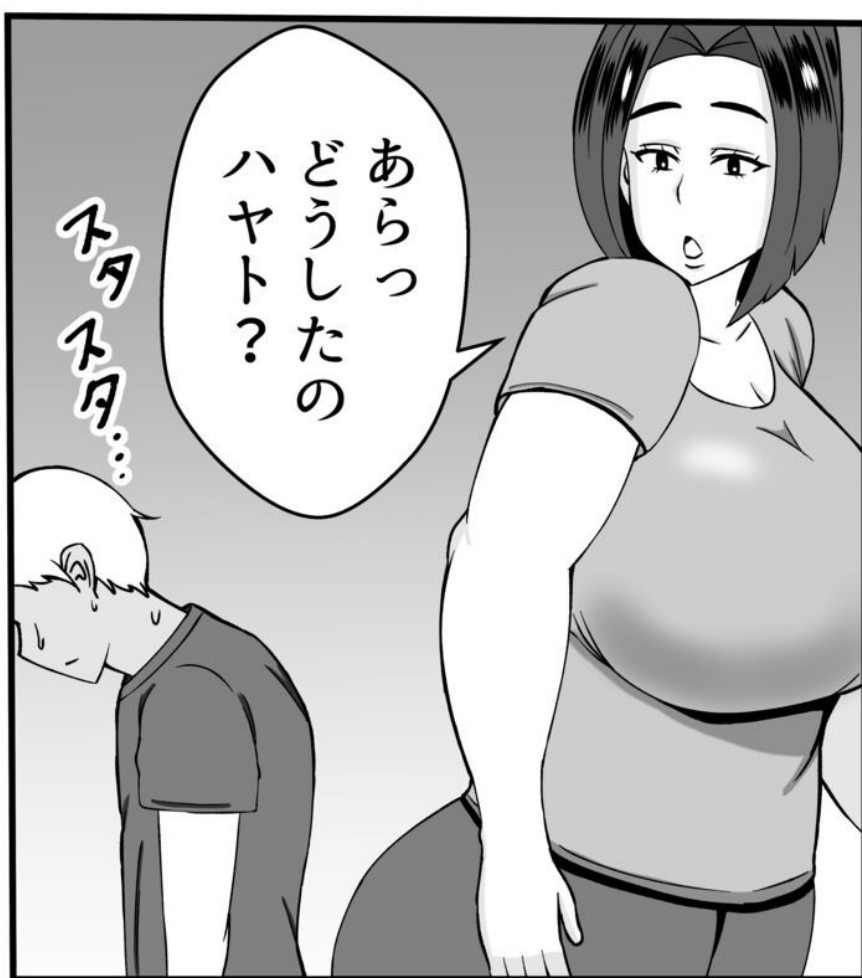


それとお願いが  
あるんだ……



私とミカが  
愛し合ってる  
時は静かに  
してほしい……



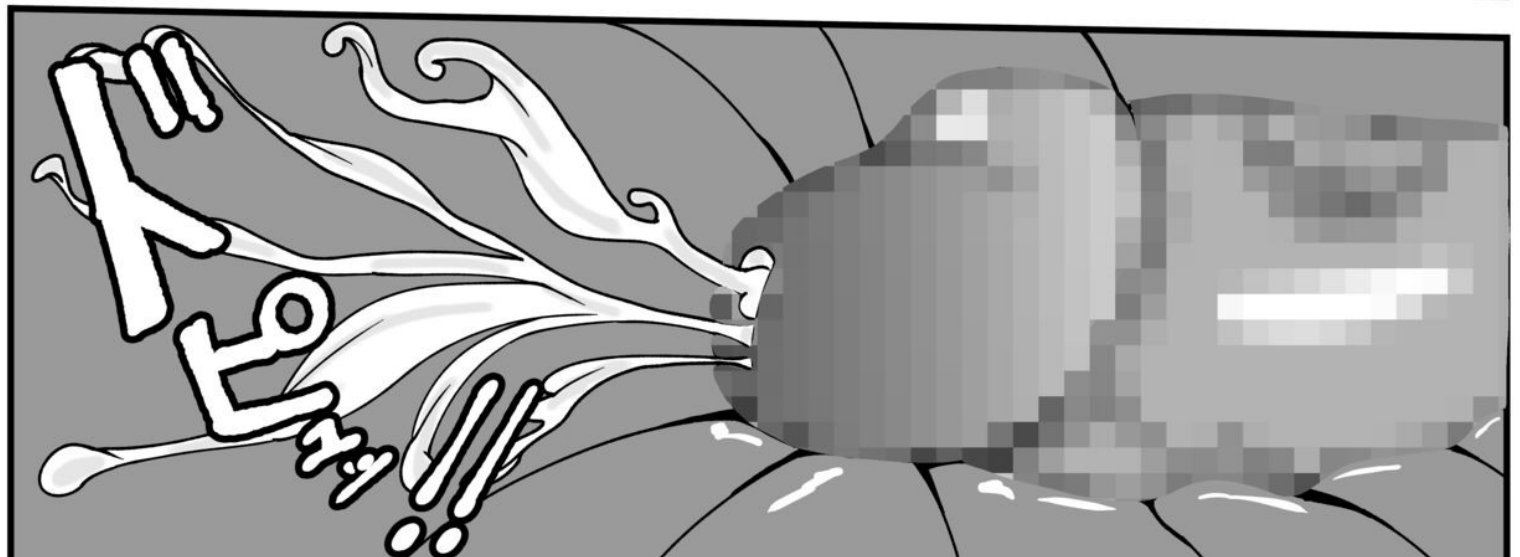


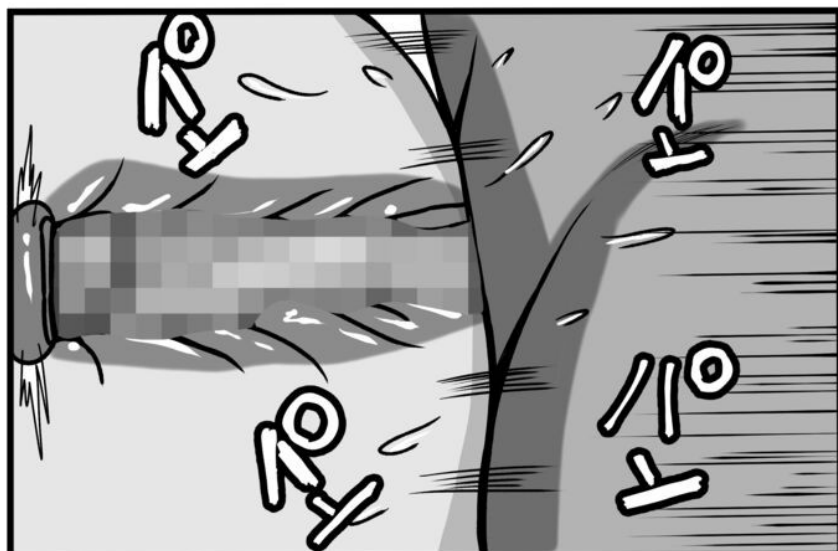




母さんの  
幸せのために...

ボクはあの男の  
言うことを  
聞くしかなかった







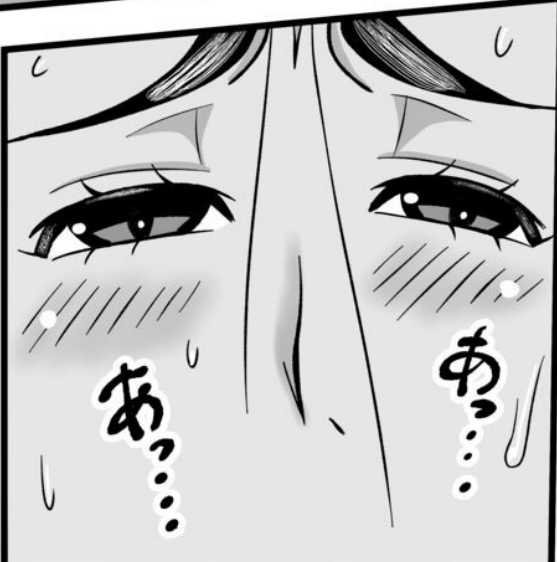




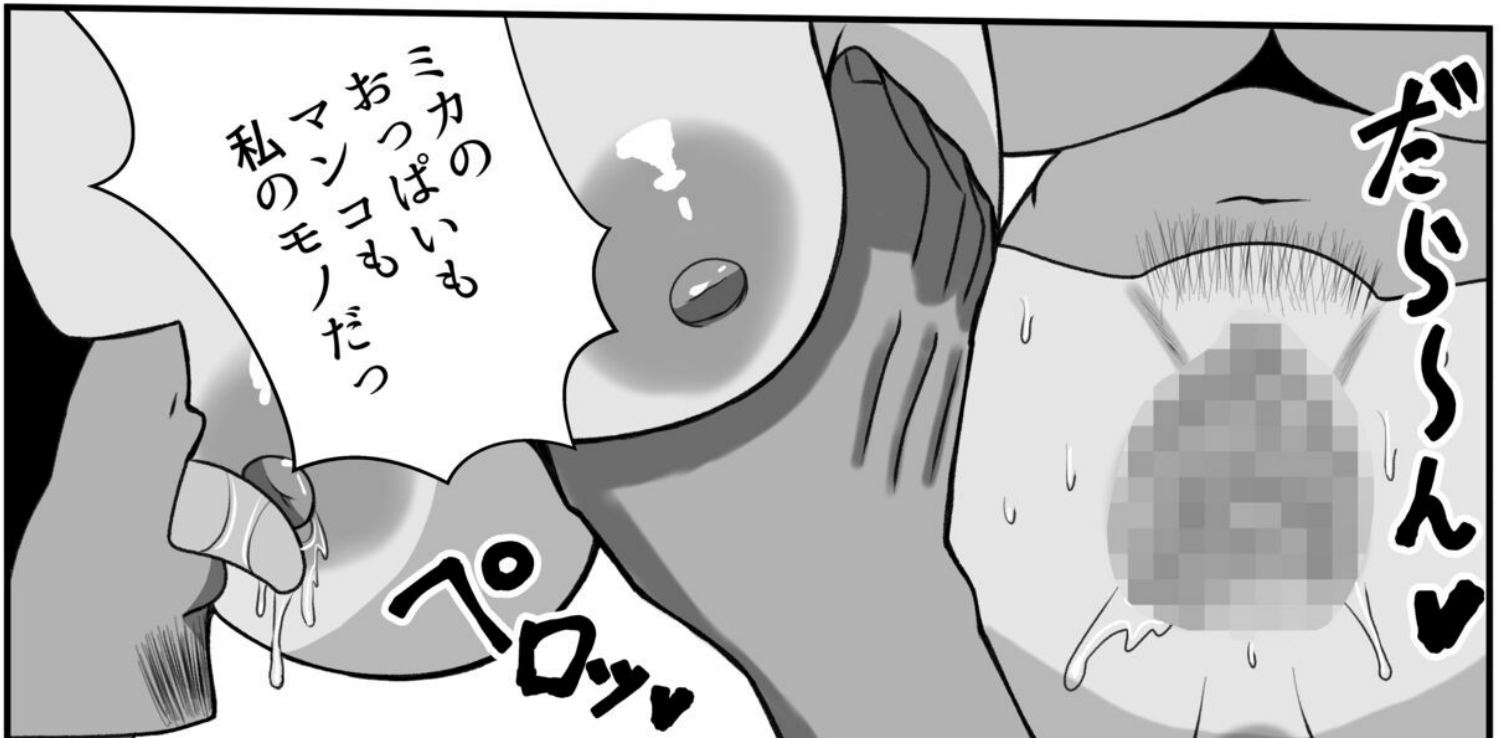
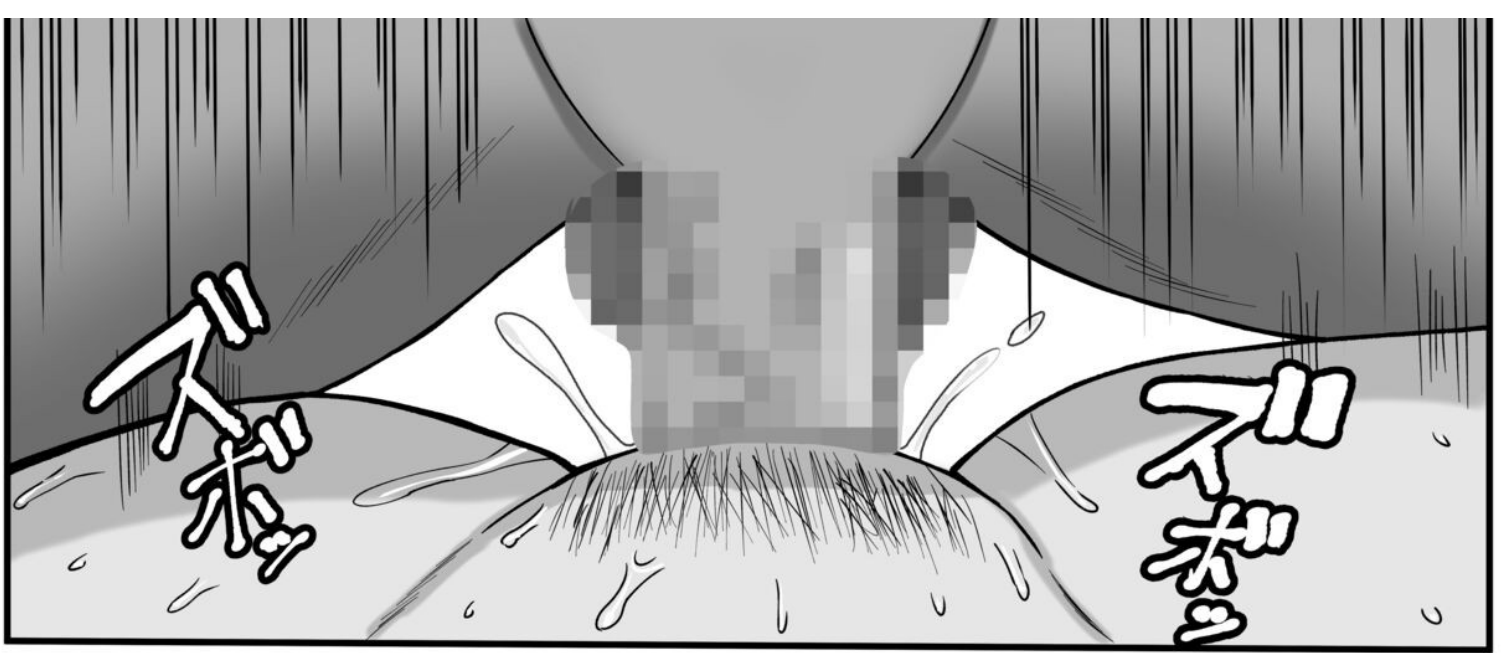
だってえ……  
ミキオさんが  
凄いからあ

んア……  
んア……

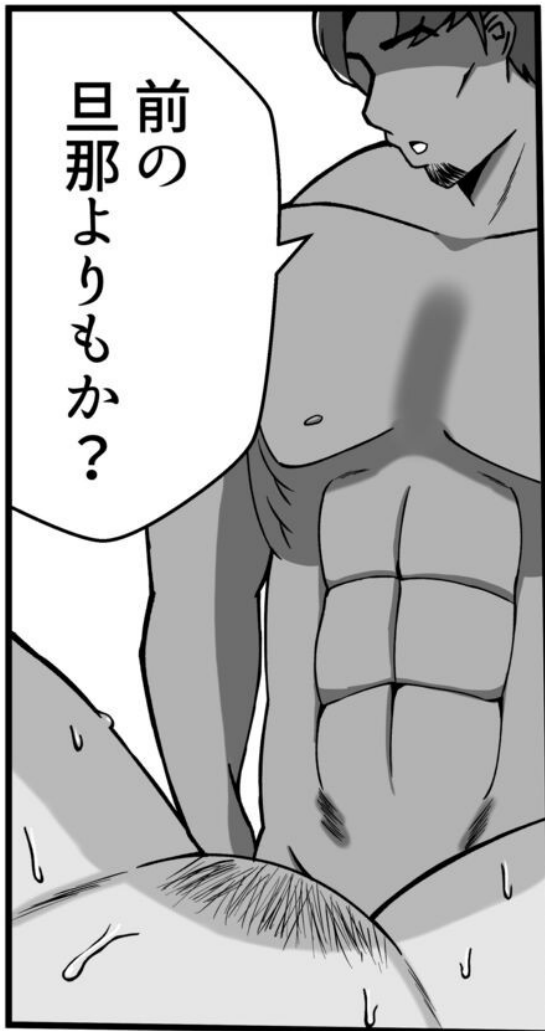
キミの  
息子にも  
見せてやりたいよ











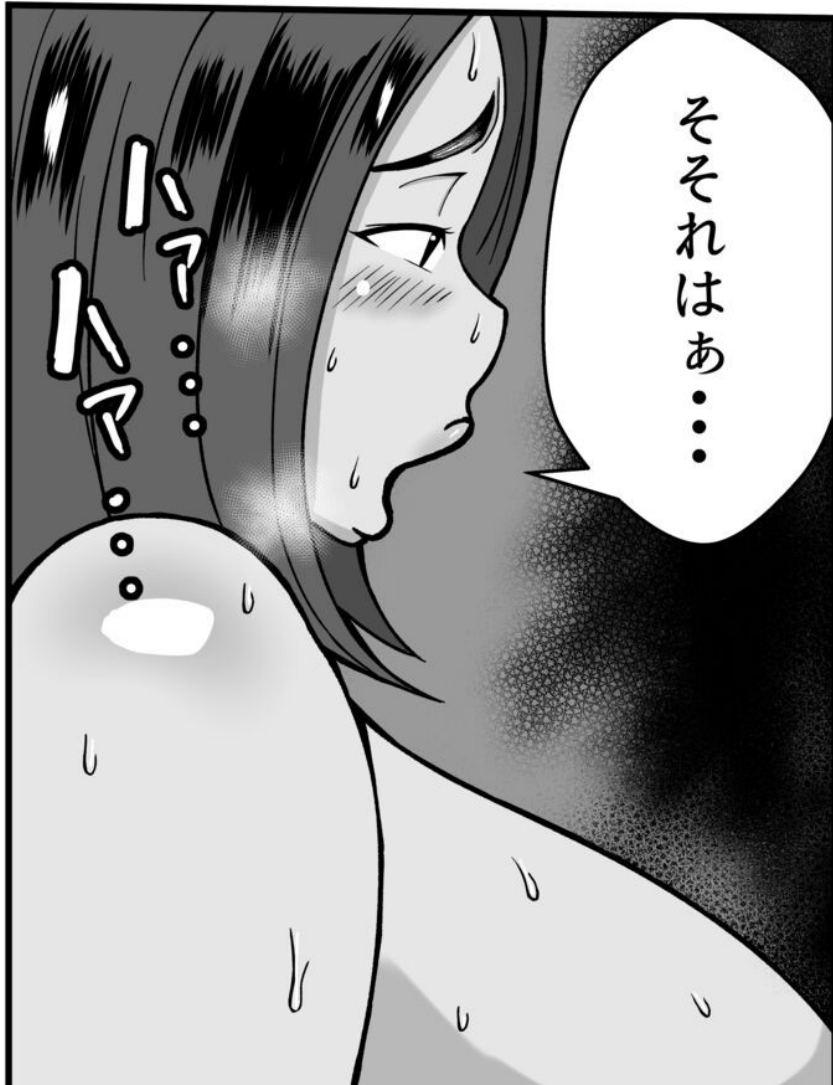
前の  
旦那よりもか？



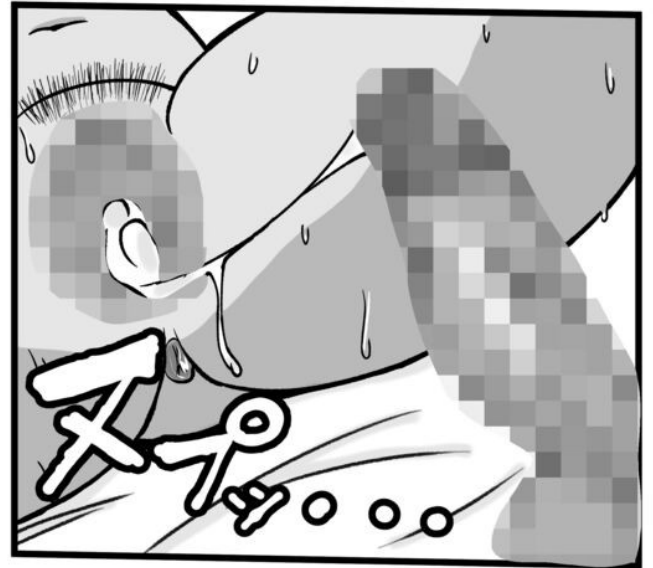
ミキオさんの  
大きいチンポ  
しゅごいわっ

ぐちゃっ

ぐちゃっ



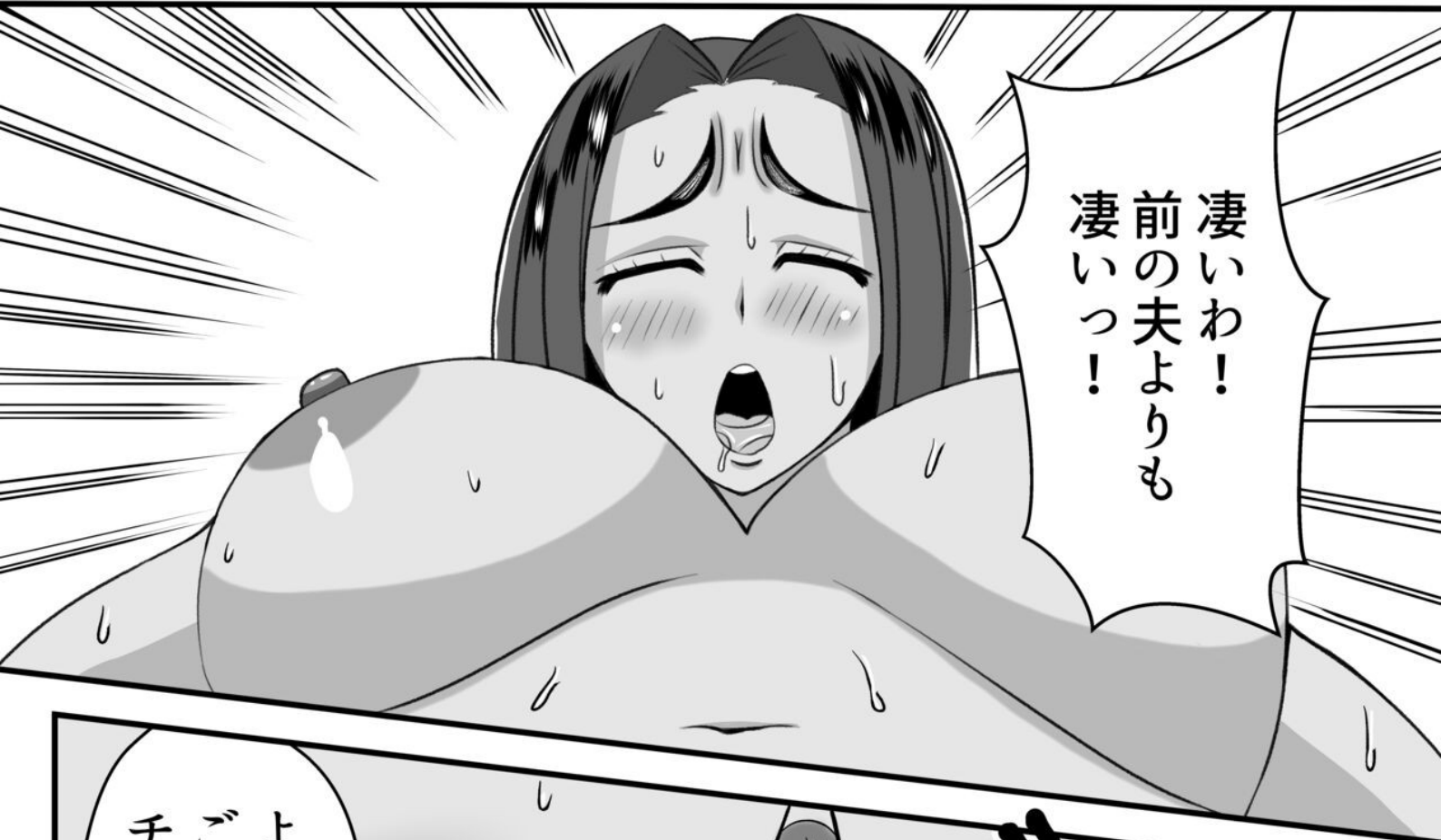
そそれはあ……



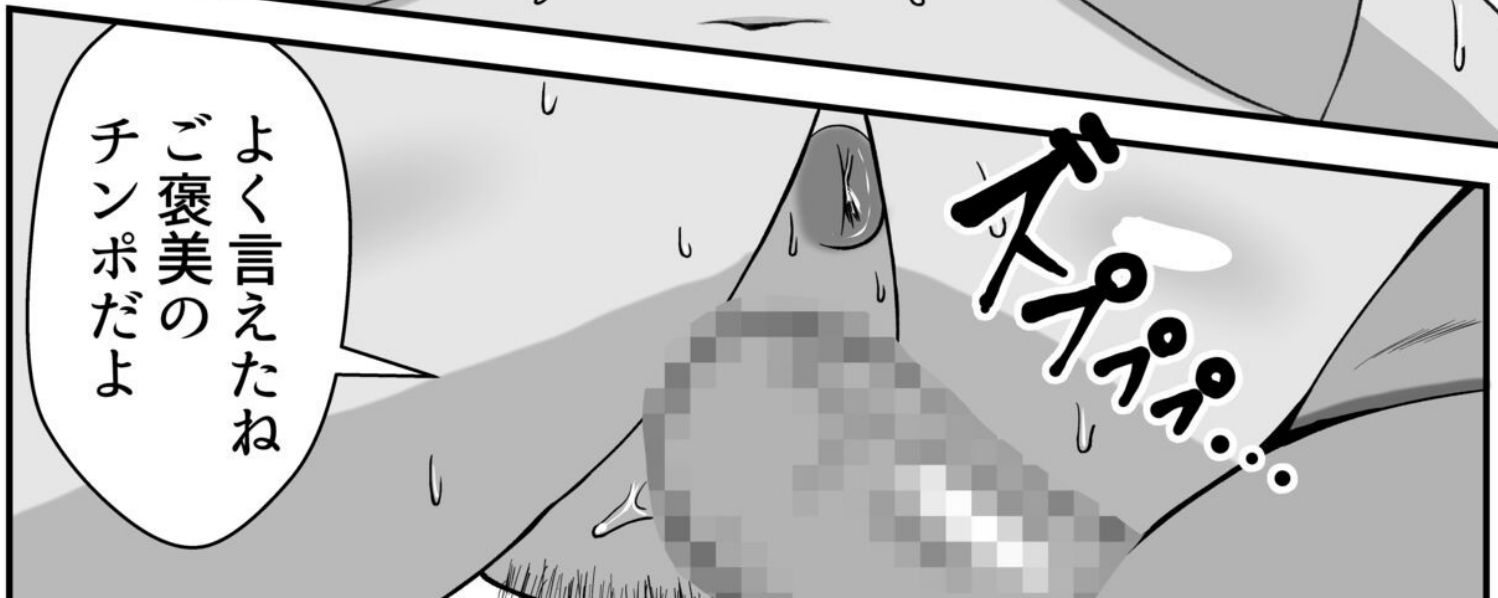
アッ……



答えるんだ  
ミカっ



凄いわ!  
前の夫よりも  
凄いつ!



ズンズン...

よく言えたね  
ご褒美の  
チンポだよ



お前の  
マンコは  
私専用だっ  
いいかい？

パンッ

おっぱい

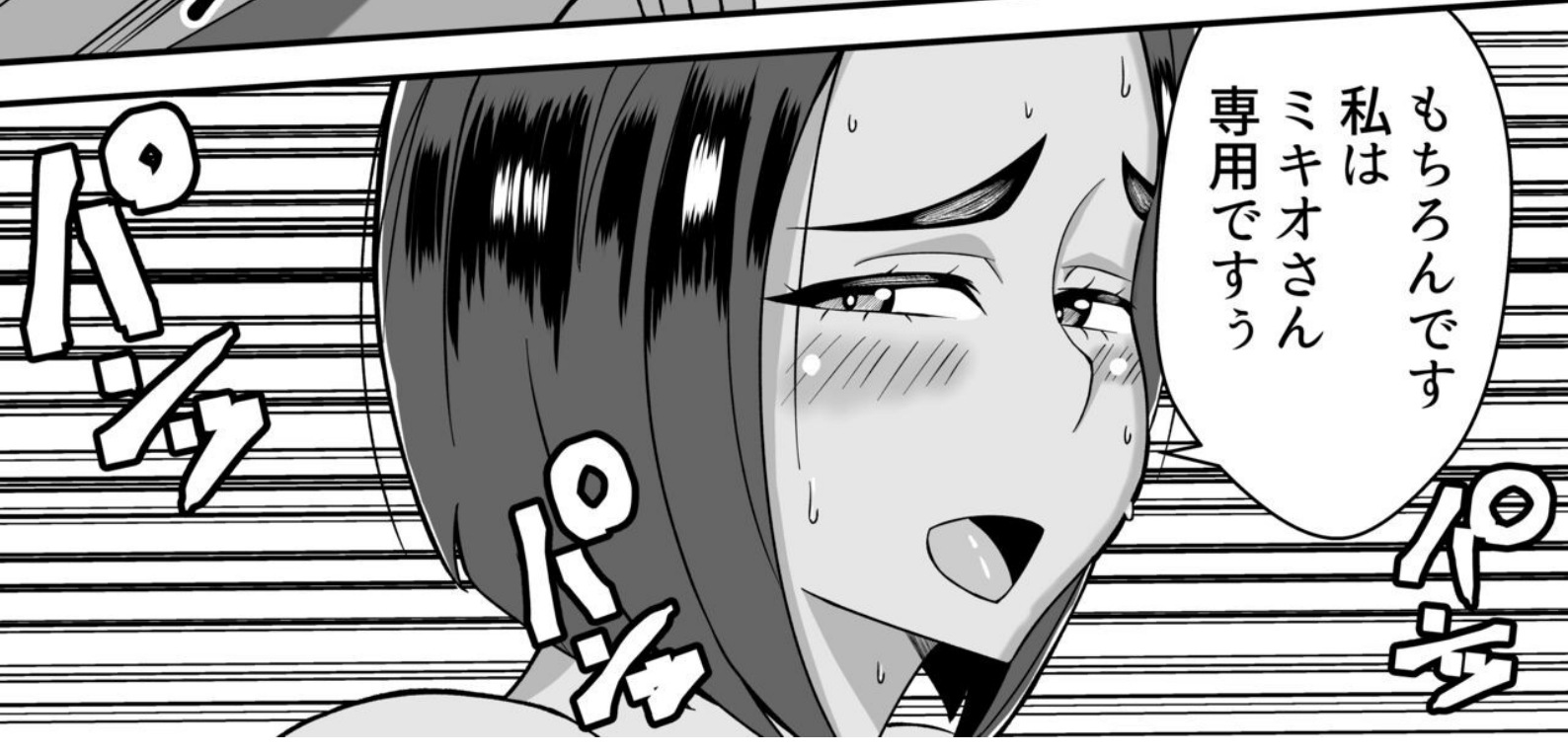
まんこ

びしょ

パンッ

パンッ

びしょ

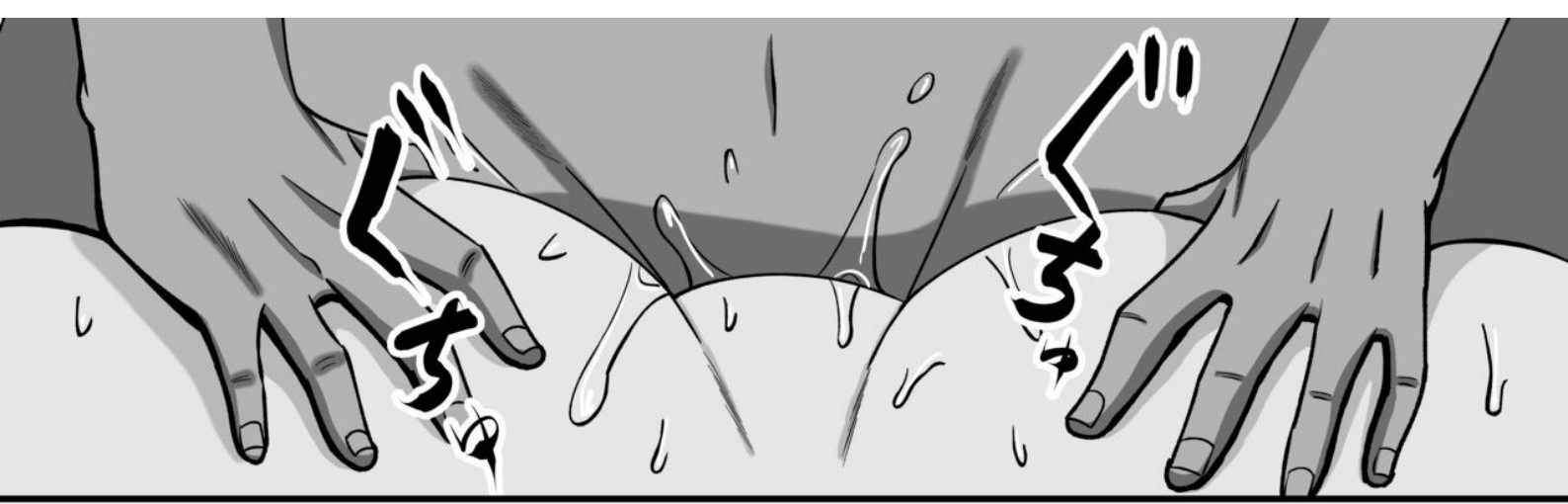


もちろんです  
私は  
ミキオさん  
専用ですう

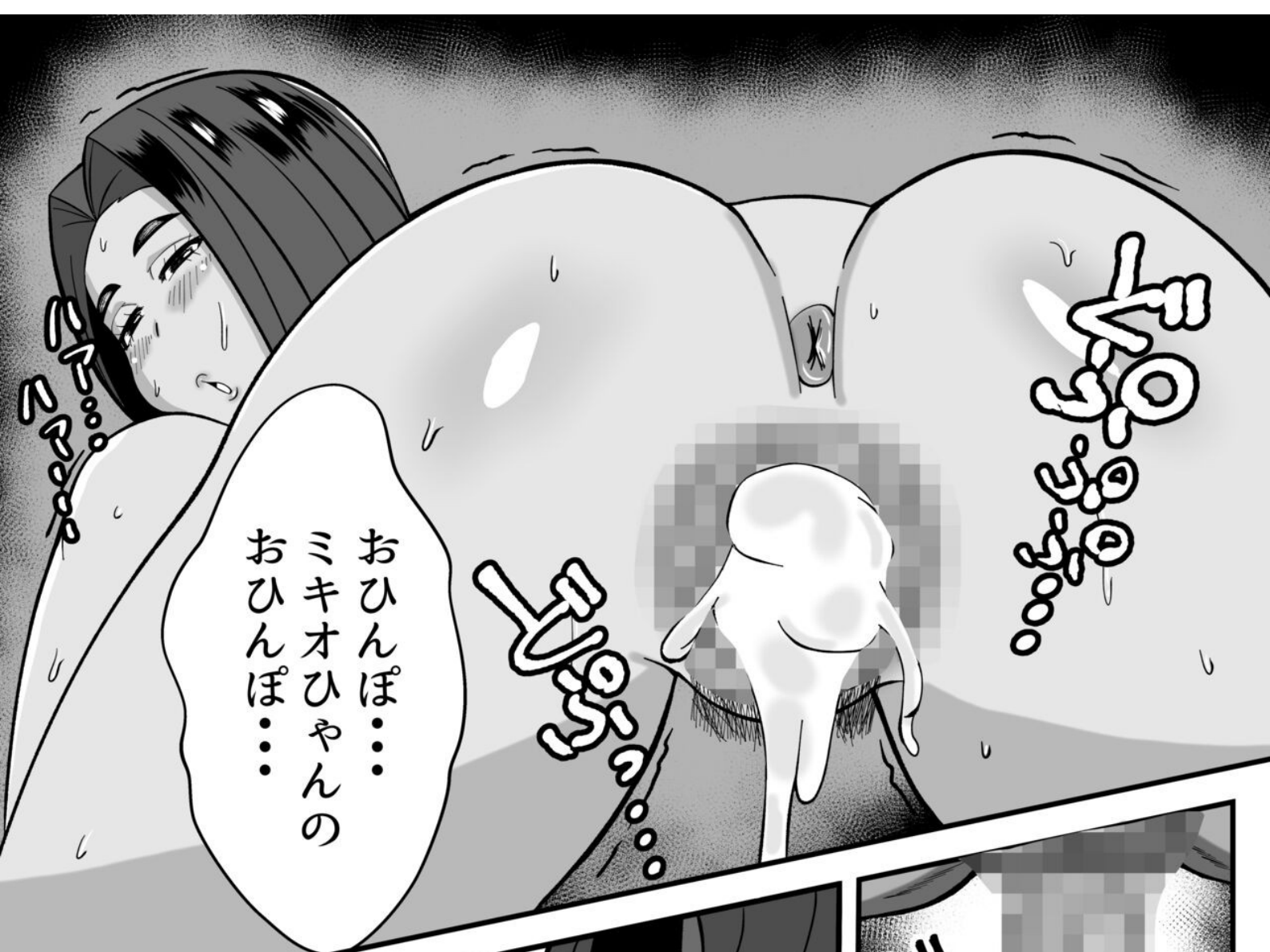
パンッ

パンッ

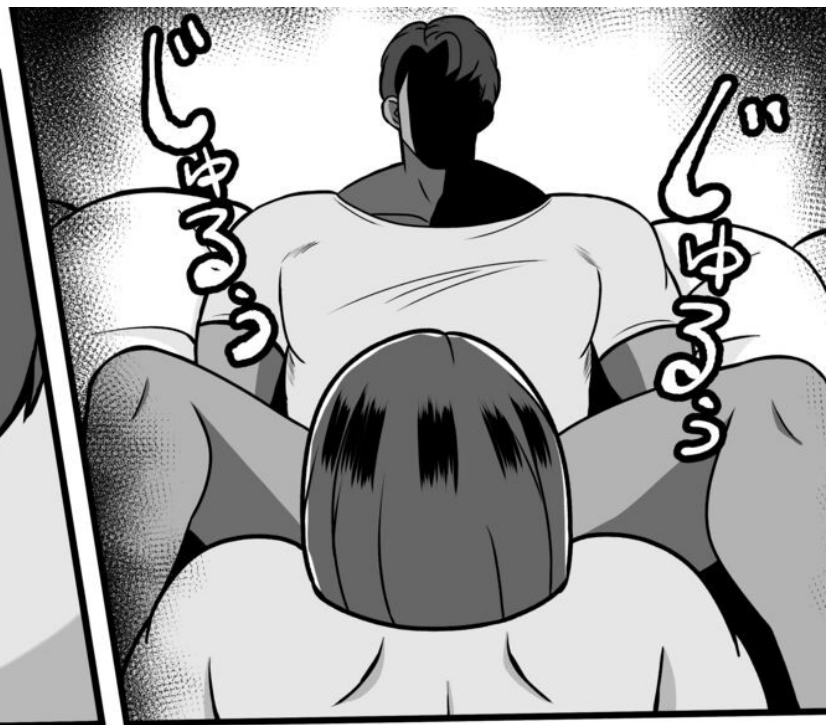
パンッ

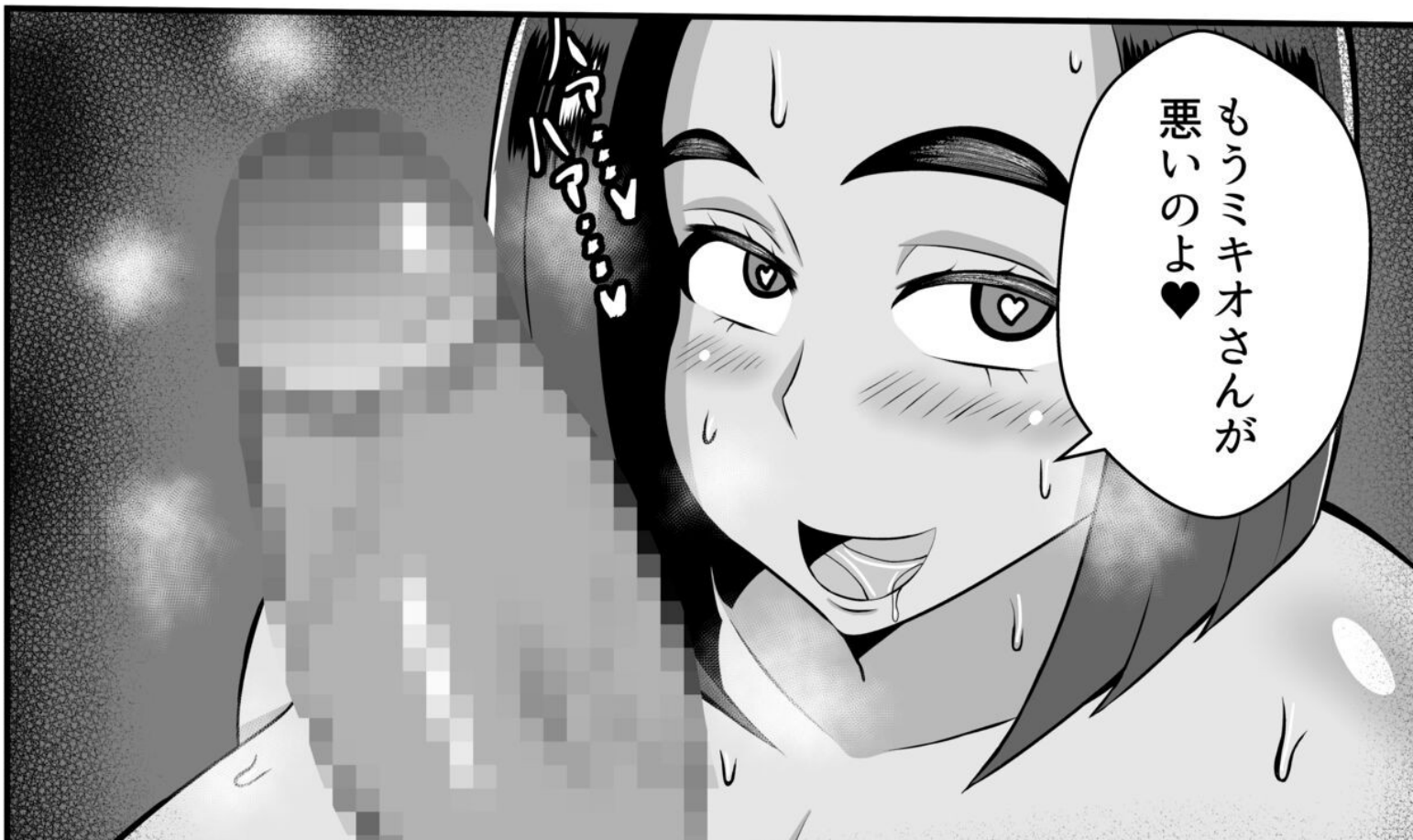


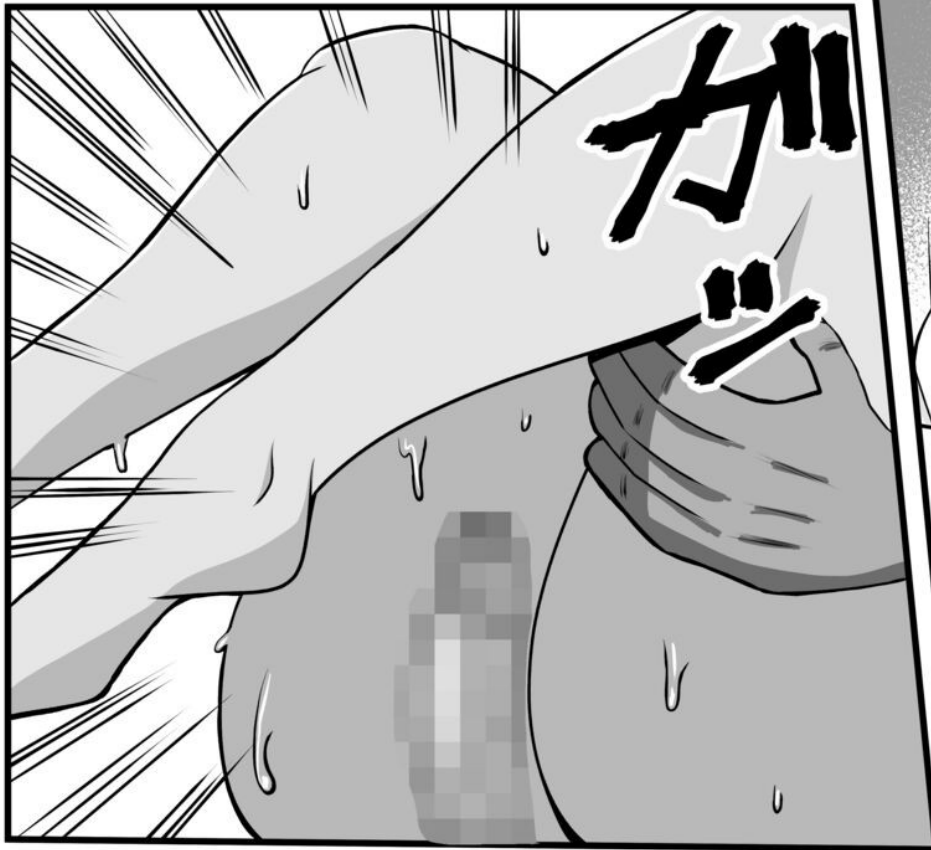


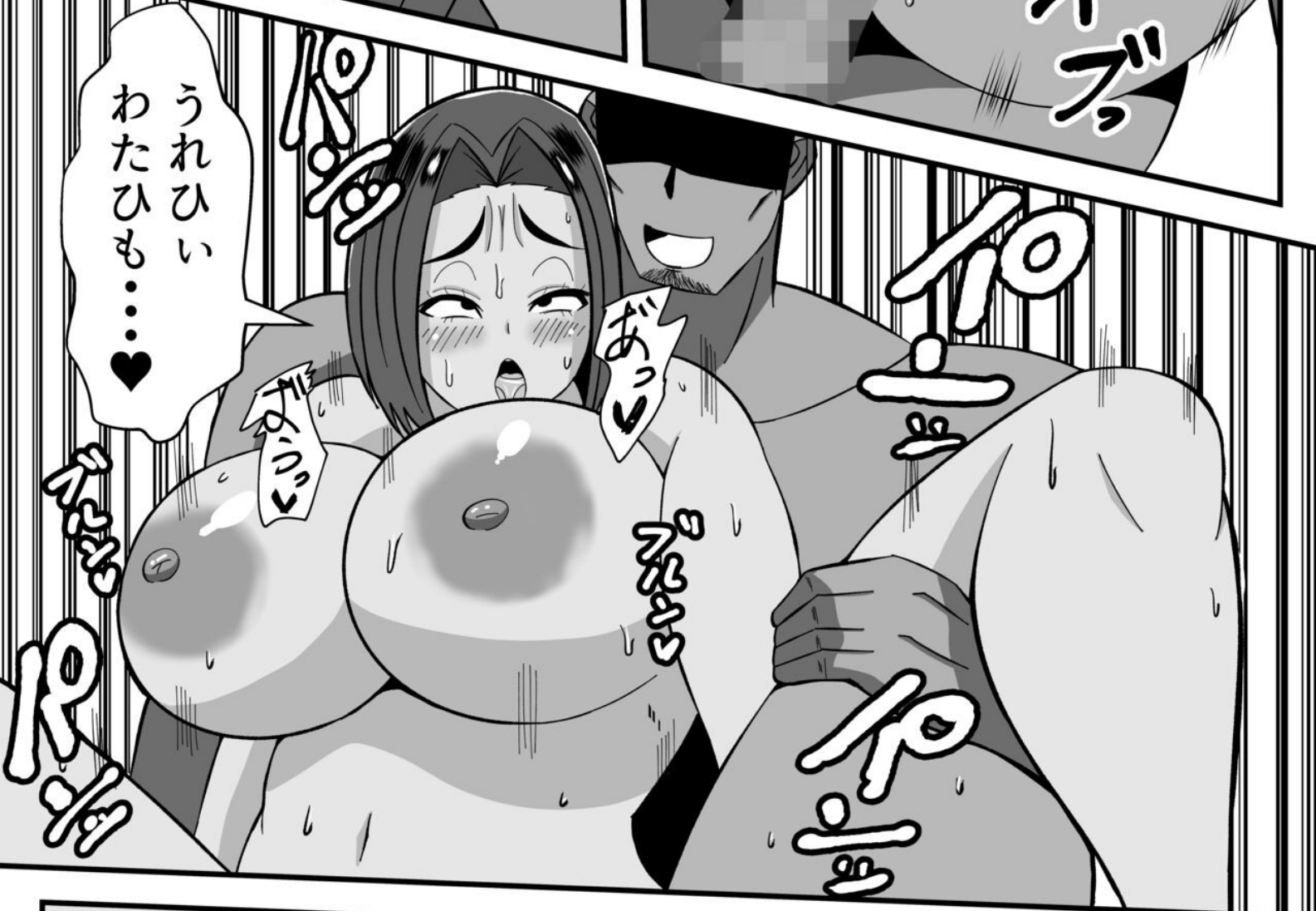




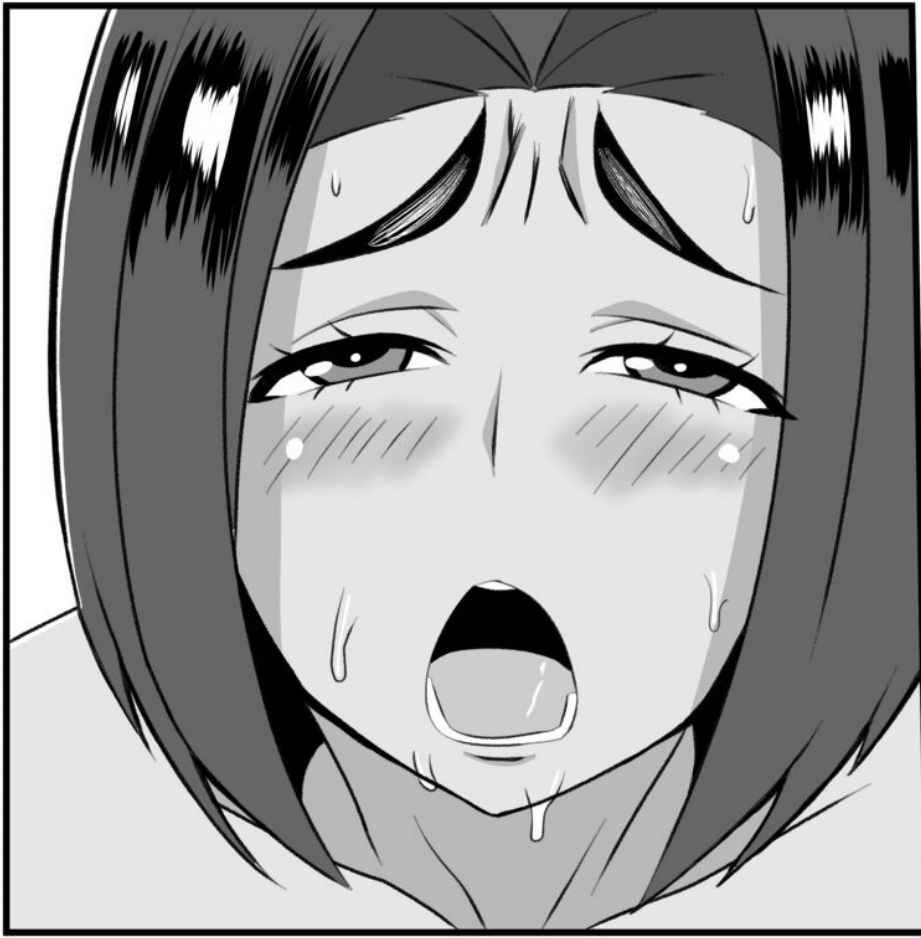












母さん  
ボクは……



結果が  
どうあれ……  
母さんが幸せなら  
ボクは……

たっ